

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念の基本方針

独創的なアイデアと技術でお客様に喜ばれる製品・サービスを提供することで社会へ貢献する

インド市場シェア
70%以上

② 中長期の経営戦略

1. 基幹クラッチ事業の強化

グローバルサウスの市場成長に追随し、インドを中心に売上拡大。グローバルマーケットリーダーの地位強化を図る

3. 事業ポートフォリオの転換

成長領域ヘリソース集中投入。二輪・四輪・非モビリティ事業で新規事業展開を加速

2. 電動化・CASE領域への転換

積層モータコアの量産開始、e-Axleの受注獲得。モビリティ領域が先行して受注・量産フェーズへ移行

4. 非モビリティ事業の創出

2030年新規事業創出を目指し、半導体業界でセラミックセッター量産、LiB用導電助剤の準備を推進

③ 対処すべき課題

① 不安定な経営環境への対応

- ・ 米国関税・物価上昇、国際情勢の不安定化への留意
- ・ 先行きの不確実性が高まる中での経営基盤強化

② 四輪事業の構造転換

- ・ BEVシフト鈍化の中、HEV・ICE需要対応力の強化
- ・ 積層モータコアの受注拡大と熱マネジメント領域の推進

③ 持続可能な成長を支える人材確保

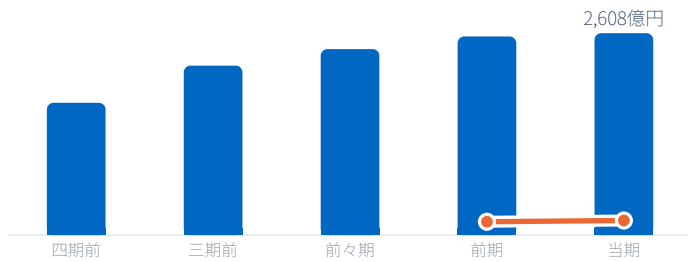
- ・ エンゲージメント向上と多様性推進による人材確保
- ・ イノベーション創出を支える人材育成の再設計

面接で使えるポイント

- ・ 第12次中期経営計画で「第二の創業 新しいFCC」を掲げ、2025年度までの事業構造転換と経営基盤強化を推進中
- ・ インド市場でマーケットシェア70%以上達成。積層モータコアやe-Axleなど電動化製品で量産フェーズへ移行
- ・ 2030年カーボンニュートラル50%削減、2050年実質排出量ゼロ目指し、太陽光発電やCO2フリー電気導入を推進

証券コード 7296

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,608億円営業利益率
7.3%財務健康度
67点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 64.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
770万円

輸送用機器内 18位/82社

平均年齢
44.6歳

輸送用機器内 18位/83社

平均勤続
19.8年

輸送用機器内 14位/83社

女性管理職
2.5%

輸送用機器内 52位/72社

男性育休
100.0%

輸送用機器内 10位/69社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

